

富田川を考える会 議事録（概要版）

日時：平成 29 年 10 月 11 日（水）14:00～15:30

場所：白浜町富田事務所 2階 会議室



1. 開会

2. 議事内容

- 1) 富田川を考える会の設立趣旨・規約について
- 2) 富田川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について

3. 審議内容及び決定事項

3.1 設立趣旨・規約の承認

富田川を考える会の設立趣旨・規約について、事務局から説明を行い、委員の承認を得た。

3.2 富田川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について

富田川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について事務局から説明。
説明に対する委員からの主な意見・質問は以下のとおり。

〈主な意見・質問〉

◆魚類の産卵時期や住む環境について関心があるため、施工時期や施工箇所について事前に打ち合わせをして欲しい。（委員）

→ 現地に着手する段階で打ち合わせをすれば、より具体的な対応ができると考えている。
なお、富田川は「オオウナギ生息地」として国の天然記念物に指定されていることもあり、河道掘削については、魚類の生息環境である水面下は施工せず、水面より上の土砂の掘削を考えている。（事務局）

◆富田川の水の流れはここ何十年かで大きく変わっている。特に、大井堰のところはすでに川の流れが変わっており、魚道が機能しなくなっている。魚道を付け直さなければならないとは考えているが、川の流れを変える（戻す）ことはできないのか。（委員）

→ 河道掘削については、水面より上の掘削を考えており、川の流れを変えるような施工と

はならないため、魚道は付け直すよう対応していただきたい。

◆河口の砂州については増水するとフラッシュするが、またすぐに溜まってしまうため、河口の処置についてもお願いしたい。(委員)

→ 河口の砂州については、平成23年洪水時にもフラッシュされており、整備計画には砂州はフラッシュされた状態を想定しているため、河口の砂州については計画的に対策していく形ではなく、維持の範囲での対策を考えている。(事務局)

◆富田川が増水すると高瀬川の水位も上がり、浸水してしまうので、支川対策についてもお願いしたい。(委員)

→ 整備計画では、まずは本川を概ね20年間かけて平成23年洪水で家屋浸水被害がなくなるように考えており、高瀬川等の支川については、本川水位が下がれば効果も期待できるため、今回は、計画的な対策として位置付けていない状況である。なお、土砂が溜まり現状の断面が確保できなくなれば、維持浚渫で対応するものと考えている。(事務局)

◆富田川には民地がたくさんあるのは承知しているが、民地にある草や木も刈って欲しい。また、所有者が不明の民地についても強制的に刈ることはできないのか。(委員)

→ 民地にある草木は所有者と調整できれば対策していく予定である。また、所有者が不明な土地については、人命にも関わることであるので今後勉強していきたい。(事務局)

◆堤防のクラック調査や強度調査など、ある程度定期的に計画してやって欲しい(委員)

→ 目視点検は定期的実施している。また、漏水等破堤の恐れがあるところなどは調査したうえで、必要に応じて補強などの対策を実施している。(事務局)

◆平成23年洪水の被害が大きくなった原因は満潮時期と重なったのもあるが、何よりも河川敷にある土砂の堆積や草木等の繁茂による阻害が原因だと思うため、これらを取り除くことから始めて欲しい。(委員)

◆アシなどがものすごく繁茂しており、流れる断面が確保されていない状況であるため、河道掘削することでアシなどがなくなる。整備計画を策定して早くやって欲しい。(委員)

◆平成23年洪水時は流木がたくさん流れ、河川清掃が大変だった。現在も流れてきており、アシなど障害物を除去すればキレイになると思う。(委員)

◆河川敷にある草をすべて刈るだけでも流れが全然違ってくると思う。(委員)

3.3 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて事務局から説明。

4. 閉会